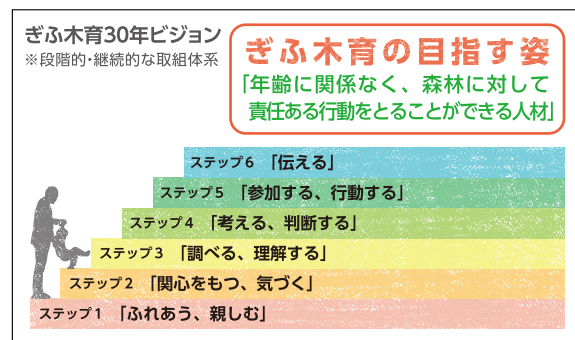


はじめに

私たちは、「森」によって生かされていると言われています。例えば、森林がもつ、水を蓄える機能、山崩れ防止機能、心に安らぎをもたらす機能などは、目には見えにくいですが、私たちの暮らしを支えています。

岐阜県は、面積に占める森林の割合が82%で全国で2番目に多い日本有数の森林県であり、産業や生活に根付いた独自の「木と共生する文化」を育んできた歴史があります。こうした文化を次世代につないでいくため、「豊かな自然を背景とした森と木からの学び」を「ぎふ木育」と定義し、平成25年3月に「ぎふ木育30年ビジョン」を策定しました。



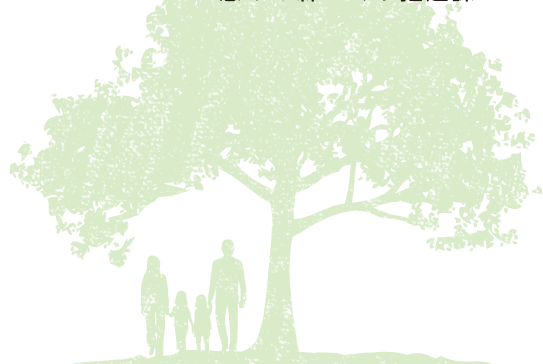
このビジョンにおいては、「森林に対して責任ある行動をとることができる人材の育成」を最終目標に、人が生まれてから次の世代を育てるための30年間を目安として、段階的・継続的な取り組みをステップ1から6として示しています。ビジョンを県民の皆さんが共有することにより、森林に関わる様々な主体によるさまざまな活動がそれのみで完結するのではなく、次のステップへとバトンを渡すように、「つながり」を意識し、目指す姿へと一歩一歩進んでいくことを目指しています。

子育て中のお母さんたちを中心に活動されている「森のようちえん（自然の中での子どもの自主性を尊重した保育や幼児教育）」は、人格形成に大きく影響する幼児期に自然と触れ合う機会を増やす活動で、岐阜県においても、11年前にはじめて活動団体が生まれ、近年は急速に活動団体が増えている状況です。また、「森のようちえん」と同じく自然の中で子どもの自主性を重んじる遊び場「プレーパーク」も近年注目を集め、活動団体が増えています。

今回、県内の「森のようちえん」及び「プレーパーク」を実践する団体に声をかけ、実践する皆さんやそういった活動に興味のある皆さんを対象とした「ぎふ木育大交流会」を初めて開催し、2日間で述べ700名を超える参加者があり大成功に終わりました。こうした場で生まれた人と人とのつながりは、より多くの県民が「ぎふ木育」を経験し、様々な立場で岐阜県の森林を支えてくれる『森の応援団』になってくれるための大きな可能性を感じさせるものでした。

これからますますこうした活動が盛り上がり、森と人、人と人のつながりが広がっていくことを期待しています。

岐阜県林政部
恵みの森づくり推進課



タイムスケジュール

9/27日

10:00～12:00 はじめての「森のおさんぽ」「森のようちえん」「プレーパーク」体験会(初心者向け)

13:00～14:00 講演会「子育てを楽しもう!」
～子どもは自然の環境の中で、心も体も豊かに育ちます。おとなも一緒に心身を開放しませんか～

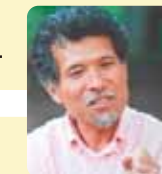


講演者 柴田 愛子さん(りんごの木子どもクラブ代表 保育者/絵本作家)

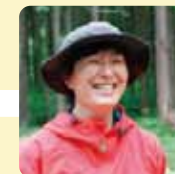
横浜市都筑区内3施設に1歳親子未就学児約100人が通う未認可保育施設を設立。1982年からの設立主旨『子どもが主役の、子どもの心に添った保育』を実践する傍ら、育児雑誌、保育雑誌などに寄稿、多数の育児書も手がけるほか、子育て支援広場や保育園、幼稚園、小学校の親の会など全国各地での講演、保育士向けセミナー等を実施。

14:30～15:30 パネルディスカッション&ワークショップ
～柴田さんになんでも聞いてちょうだい～

16:00～18:00 分科会
GUEST



森のようちえん全国ネットワーク
代表 内田幸一さん



森のようちえん「てくてく」
園長 小菅江美さん



NPO法人ゆめ・まち・ねっと
代表 渡部達也さん・美樹さん



美濃加茂市里山再生プロジェクト
美濃加茂市長 藤井浩人さん

9/28日

10:00～12:00 / 13:00～15:00 分科会 / 15:30～16:30 全体会

分科会 「森のようちえん」や、「プレーパーク」に子どもを通わせてみたい、自分で始めてみたい、という皆さんと、すでに実践している皆さんが想いを共有し、次の一歩を共に考えます。

時間	番号	分科会タイトル	講師(敬称略)
27日 16:00 } 18:00	①	「森のわらべ」の10年を振り返って	森のわらべ多治見園 浅井智子
	②	日常の遊び場～だれでも始められるはじめての一歩	プレーパーク楽風 前野学美
	③	遊びの中で生きる力を育てる～子どもの遊びはAKB!?	NPO法人ゆめ・まち・ねっと 渡部達也・美樹
	④	森のようちえんにとって好ましい場所づくりとは?	岐阜県立森林文化アカデミー 萩原ナバ
28日 10:00 } 12:00	⑤	森のようちえんにおける安全管理～森のわらべの実践より～	森のわらべ多治見園 奥村則子、山口貴子
	⑥	森のようちえんってどんな保育?～大切なことを「続けていく」こと～	森のようちえん「てくてく」 小菅江美
	⑦	行政がはじめた森のようちえん	美濃加茂市長 藤井浩人・里山再生プロジェクト
	⑧	お母さんのための森づくり講座 ～私たちにも出来ること～	林業女子会@岐阜 寺田菜穂子
	⑨	森のようちえん 30年続けて見えてきたこと	森のようちえん全国ネットワーク 内田幸一
	⑩	子どもは今を輝いてこそ生きる ～遊び場のステキな子どもたち～	NPO法人ゆめ・まち・ねっと 渡部達也・美樹
28日 13:00 } 15:00	⑪	森では子どもより大人が育つ?～親育ちにまつわる座談会～	森わら浅井智子・じゃん☆ぼけ林育子・ゲスト小菅江美
	⑫	遊び場が支えた思春期の子どもたち～何気ない日常を重ねるその先に希望がある～	NPO法人ゆめ・まち・ねっと 渡部達也・美樹
	⑬	森のようちえんの認定制度を考える ～長野県の事例を参考に～	森のようちえん全国ネットワーク 内田幸一

次ページ以降の記録は、運営に協力していただいた有志スタッフの記録メモ等をもとに作成しています。